2018年度

総 会 議 案 書

日時 2018 (平成30) 年 5月19日 (土) 午前10時00分

場所 川越市立博物館 視聴覚ホール



かわごえ環境ネット

総会次第

- 1. 開会
- 2. 理事長あいさつ
- 3. 議長選出
- 4. 議事
 - (1) 議案第1号 2017年度事業報告
 - (2) 議案第2号 2017年度決算報告及び会計監査報告
 - (3) 議案第3号 役員の改選について
 - (4) 議案第4号 2018年度事業計画
 - (5) 議案第5号 2018年度予算
- 5. 議長解任
- 6. 閉会

議案第1号 2017年度事業報告 1.主な事業

事業一覧

年 月	日	事 業 内 容							
2017年 4月		池辺公園定例活動							
2017 1	5日 (水)	月刊かわごえ環境ネッ比2017年4月号 No.126)発行							
	10日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動							
	20日 (木)	緑のカーテン苗配布と説明会							
	24日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動							
5.F	月 2日(火)	月刊かわごえ環境ネッド2017年5月号 No.127)発行							
	8日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査 保全活動							
	9日 (火)	池辺公園定例活動							
	18日 (木)	トンボヤゴ調査							
	20日 (土)	田んぼの食べる生きもの調査 植物編)かわごえ里山イニシアチブと共催)							
	22日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査 保全活動							
	27日 (土)	2017年度総会 市立博物館視聴覚ホールにて 出席25名 委任85名 計110名) 懇親会 どんぐりの樹」にて 参加者16名)							
	30日(火)	上戸小学校自然環境学習支援							
6月	3日 (土)	かわごえ生き物調査会 環境政策課と共催)							
	4日 (日)	川の一斉水質調査							
	6日 (火)	月刊かわごえ環境ネッ比2017年6月号 (No.128)発行							
	6日 (火)	池辺公園定例活動							
	11日 (日)	甲虫調査							
	12日(月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動							
	14日 (水)	今成小学校自然環境学習支援							
	19日 (月)	高階北小学校自然環境学習支援							
	24日 (土)	田んぼの生きもの調査 動物編)かわごえ里山イニシアチブと共催)							
	26日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査 保全活動							
7,5	月 2日(日)	キノコの観察会							
	4日 (火)	池辺公園定例活動							
	7日 (金)	月刊かわごえ環境ネッ½017年7月号 (No.129)発行							
	10日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査 保全活動							
	16日 (日)	夏の郊外クリーン活動							
	23日 (日)	<u> </u>							
	24日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動							
	29日 (土)	小江戸川越打ち水風情2017に参加							
	30日 (日)	虫の観察会 環境政策課と共催)							
8F		池辺公園定例活動							
	5日 (土)	甲虫調査							
	7日 (月)	月刊かわごえ環境ネッ比2017年8月号 (No.130)発行							
9月		池辺公園定例活動							
	5日 火)	月刊かわごえ環境ネッド2017年9月号 (No.131)発行							
	9日 (土)	パッションフルーツ挿し木育苗講習会							
	9日(土)	自然を感じる野外フェス in 伊佐沼公園に参加							
	10日(日)								
	11日 (月)								
	24日 (日)	環境施設視察研修会 サンデンフォレス ト赤城事業所ほか 参加者23名) 農」と里山シンポジウム							
	25日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査 ·保全活動							

10月	1日 (日)	「2017アースデイ・イン・川越 昭和の街」にパネル出展
	3日 (火)	池辺公園定例活動
	8日 (日)	伊佐沼生き物観察会 環境政策課と共催)
	9日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査 保全活動
	10日 (火)	月刊かわごえ環境ネッ比2017年10月号 N o.132)発行
	14日 (土)	川越まつり会場クリーン活動 参加者68名)
	15日 (日)	川越まつり会場クリーン活動 参加者16名)
	18日 (水)	自然観察研修会 那須平成の森を訪ねて」参加者43名)
	27日 (金)	県民参加モニタリング調査
11月	6日 (月)	高階北小学校自然環境学習支援
	7日 (火)	月刊かわごえ環境ネッ比2017年11月号 N o.133)発行
	7日 (火)	池辺公園定例活動
	9日 (木)	霞ケ関西小学校自然環境学習支援
	11日 (生)	かわごえ産業フェスタ」にてエコドライブ教習会を実施 環境政策課と共催)
	11日 (生)	第17回北公民館かんきょう祭り」にパネル出展
	13日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査 保全活動
	13日 (月)	今成小学校自然環境学習支援
	19日 (日)	りばさ館まつり」にてエコドライブ教習会を実施 環境政策課と共催)
	22日 (水)	上戸小学校自然環境学習支援
	25日 (土)	環境講演会 映画と講演会の集い」 南公民館 参加者88名)
	27日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査 保全活動
12月	1日 (金)	月刊かわごえ環境ネッ比2017年12月号 N o.134)発行
	5日 (火)	池辺公園定例活動
	11日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査 保全活動
	23日 (土)	歳末まち美化活動 参加者77名)
2018年 1月	1日 (月)	月刊かわごえ環境ネッ比2018年1月号 No.135)発行
	9日 (火)	池辺公園定例活動
	22日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査 保全活動
2月	1日 (木)	月刊かわごえ環境ネッ比018年2月号 No.136)発行
	12日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査 保全活動
	25日 (日)	第16回かわごえ環境フォーラム 参加者午前の部 75名、午後の部 40名) 午前の部:環境活動報告会、午後の部:かわごえカフェ2018
	25日 (日)	川越の自然を訪ねて きのこ編 刊行
	26日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
3月	2日 (金)	月刊かわごえ環境ネッ比2018年3月号 No.137)発行
	6日 (火)	池辺公園定例活動
	12日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
	26日 (月)	仮称)川越市森林公園計画地 調査・保全活動
	27日 (火)	生物多様性講座 かわごえの生き物をたずねて」に協力

会議理事会12回開催広報委員会12回開催社会環境部会12回開催自然環境部会11回開催事業運営委員会11回開催

2. 総括及び全体事業

2017年度も前年度に引き続き、本会の目的である「川越市環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報提供や調整を図ることにより、地域ぐるみで本市の望ましい環境像実現のための取り組みを活発にすること」に基づいて事業を実施しました。ここでは、前年度の事業計画に掲げた5つの事業に沿って事業を総括するとともに、事業運営委員会が実施した全体事業を中心に記します。

(1) 【交流事業】2月25日に「第16回かわごえ環境フォーラム」をウェスタ川越市民活動・生涯学習施設活動室1・2において開催しました。午前の部に、毎回実施している市民・民間団体の「環境活動報告会」を実施し、10件の発表があり、75名が参加しました。また、午後の部に、講演会と語らいの場「かわごえカフェ2018:川越を語ろう・伝えよう・行動しよう」を開催しました。岩谷美苗さんによる基調講演「意外と知らない樹の生活〜知ると緑が楽しくなる〜」に続き、「かわごえカフェ2018」を40名が参加して行いました。「みんなではぐくむ水と緑と歴史のまち・川越」というテーマで4人ずつがテーブルを囲んで、ワールドカフェ形式の話し合いを楽しみました。

懇親会は、5月27日の総会後にどんぐりの木で実施し、16名の参加者が懇親を深めました。その他、関係団体の行事に出席するなどして交流を深めました。

(2) 【普及・啓発事業】7月23日に環境プラザ「つばさ館」で開催された「エコプロダクツ川越2017」に会員団体等と共同出展して、ワークショップと展示を行い、来場者に環境行動の普及・啓発を図りました。また、会場において会員企業のポスター展示を実施し、企業と来場者の環境コミュニケーションを支援しました。さらに、川越市(環境政策課)が主催する環境月間ポスターコンクールにおいて「環境ネット賞」を3点選定し、表彰しました。

ボランティアの機会の提供と地域への啓発のために、3回のまち美化活動を実施しました。郊外クリーン活動は、7月16日にやすらぎのさと周辺の郊外で実施し、24名の参加者がありました。10月14・15日の川越まつりでは会場クリーン活動を実施し、2日間で合計84名(1日目68名、2日目は雨のため16名)の参加者がありました。12月23日の中心市街地歳末まち美化活動は、77名の参加者がありました。団体としての参加者が増加し、参加者以外への周知も進んでおり、本会の名を知らしめる役割を果たしています。

その他、各専門委員会並びに会員がさまざまな行事において普及・啓発事業を実施しました。7月29日の川越百万灯夏まつりにおける川越4ロータリークラブ主催の「小江戸川越打ち水風情2017」に、横山三枝子副理事長が本会の代表として参加しました。社会環境部会においては、自然エネルギーに関する環境講演会、エコドライブ教習会、緑のカーテン普及事業を実施して、環境に配慮した行動の普及・啓発を図りました。

広報紙「月刊かわごえ環境ネット」においては、自然環境部会の企画する「川越の自然を訪ねて」が 10 回、社会環境部会の企画する「私のエコ体験」が 12 回のコ

ラムを連載し、各執筆者の目線から、自然環境の保全や環境に配慮した生活に関する普及・啓発を図りました。

(3) 【調査・研究事業】6月4日に川越市内の河川における「川の一斉水質調査」を実施し、16名の参加者が30か所の採水を行い、CODとEC(電気伝導率)等の水質を測定し、結果を流域団体に報告しました。また、新河岸川流域や荒川流域の各流域団体の活動に協力しました。さらに、川越市が実施した8月2日の川越中心市街地におけるまち歩き暑さ測定ツアーに参加協力しました。

今年度改定した「川越市環境行動計画」における「環境に配慮した行動(チェックシート)」を、行事や大学の授業において実施し、北公民館かんきょう祭りでは16人、第16回かわごえ環境フォーラムでは8人、大学授業では74人の計82人の回答者を得ました。

自然環境部会においては、埼玉県の事業である「県民参加生き物モニタリング調査」に参加するとともに、公開による自然観察会や調査活動、保全再生活動を通じて調査・研究事業を実施しました。また、川越市が実施する生き物調査事業に協力しました。

- (4) 【学習支援事業】川越市内の小学校 4 校、中学校 1 校、高等学校 1 校に対して自然環境学習支援を行いました。また、ウェスタ川越が主催した「子どもと一緒の環境講座」に協力して 4 回の講座を企画・実施しました。専門委員会では、会員への研修事業として、社会環境部会においては群馬県のサンデンフォレストとぐんまフラワーパークの見学、自然環境部会においては栃木県の那須平成の森の見学会を実施しました。
- (5) 【広報・情報事業】本会または会員が主催した行事や会員等からの活動報告などを取りまとめて「月刊かわごえ環境ネット」を年間12回発行し、情報の蓄積と情報共有を図りました。また、Webサイトの運営とソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)であるFacebookとTwitterを活用し、環境に関する人的交流を進めるとともに活動の周知を図り、多地域、多方面の参加者・会員獲得に貢献しました。

刊行物としては、かわごえ環境フォーラムの開催に合わせて『第 16 回かわごえ環境フォーラム かわごえ環境活動報告集』を発行し、市民・民間団体・事業者・大学・行政等の環境活動に関する情報の集成を図りました。さらに、川越市が発行する『平成 29 年度版 かわごえの環境 (第 1 号)』の「市民・事業者の環境への取組状況」に、前年度の川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ 21」の「環境に配慮した行動チェックシート 20 (市民編)」の集計結果及び川越市における本会等の協働事業を掲載しました。

自然環境部会では、サイサン環境保全基金の助成を得て、「川越の自然を訪ねて きのこ編」を2月25日に刊行しました。

3. 広報委員会

会員等の協力により、年間 12 回の「月刊かわごえ環境ネット」を発行しました。1 年間 の広報紙のページ数は、4 月から順に 16, 16, 14, 20, 18, 16, 20, 16, 16, 18, 14, 14 ページの計

198 ページとなり、前年度より 4 ページ増加しました。各号は、印刷して会員へ郵送するとともに、公民館等のラックへの設置を行い、発行部数は 500 部となっています。さらに本会ホームページに PDF ファイルを掲載しました。

2つのコラム「私のエコ体験」「川越の自然をたずねて」については、それぞれ社会環境部会、自然環境部会が執筆者を決め、話題性のある内容を執筆していただきました。また、報告記事として、本会の活動報告、会員・関係団体の活動の積極的な掲載に努めました。 予告は、本会主催の事業の他に、後援事業や会員団体等の事業についての予告を掲載し、環境活動の活性化に貢献しました。

月刊紙の発行に合わせて、ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)である Facebook、Twitter を併用し、行事の予告と活動の報告を不定期に行いました。特にクリーン活動においては、積極的な周知の結果、多方面多地域から、多数の参加者を得ることに貢献しました。

月刊かわごえ環境ネットについては、月末を目途にしている発行日は、前年と同様に安定しませんでしたが、発行の早期化に努力しました。企画から原稿依頼・収集、編集・発送までのさらなる効率的な運用が課題です。インターネットメディアとの両立も必要と考えていますが、現状の労力では部分的な情報の掲載にとどまっています。本会の運営を担う後継者を獲得するためにも、インターネットでの積極的な情報発信、情報交流は不可欠と考えています。

4. 社会環境部会

(1) 部会の定例活動

前年度に引き続き、進行役交替制で毎月1回の部会を開催し、事業活動の企画、具体的な実施計画等を協議したほか、環境問題に関する情報の交換を行いました。また本会の機関誌「かわごえ環境ネット」のコラム「私のエコ体験」に交替で記事を投稿して、エコ暮らしや体験等を紹介し、読者の環境問題に係る意識高揚の参考に供しました。

(2) 学習活動の一環として環境施設の見学及び環境講演会を開催しました。

①環境施設の見学

9月15日に会員及びその家族、社員等23名の参加の下にバス1台を借り上げ、前橋市内のサンデンホールディングス(株)サンデンフォレスト 赤城事業所及び同市内のぐんまフラワーパークを見学しました。

サンデンフォレストはサンデンホールディングス(株)が平成14年に自動販売機やショーケース等の生産拠点として赤城山麓に整備した工場で、生態系に配慮した工場整備のモデルの1つとして選定したものです。工場の敷地は64haあり、その半分は工場全体を取り囲んだ森とこれと相互に結ばれた建物周縁の緑地となっています。散策した「こもれびの森」と名付けられた周縁の森の中のせせらぎには何時のころからかホタルが生息し、監視カメラにはキツネ等の動物も写っているそうです。

生産ラインの見学では、通常の工場見学とは全く異なって、手が届く距離で自動販売機の組み立て作業を見ることができました。このようにここでは工場見学や自然体験活動プログラムを各種揃えて、自主活動のフィールドとして企業の環境保全活動に関する

研修の場として提供しています。

ぐんまフラワーパークは 25 年前に群馬県が赤城山麓に整備した花を主体にした植物園です。5 棟の温室には大きく育ったサボテンや熱帯性の珍しいたくさんの植物が育成されており、またわんぱく広場、イングリッシュガーデン、花と緑の学習館、農産物直売所等もあって、来園者それぞれに楽しめる施設が整備されています。

②環境講演会の開催

今年は例年と少し模様替えを行い、11 月 25 日にウェスタ川越内の南公民館を会場として、「映画と講演会の集い」のキャッチフレーズのもとに、映画の上映と講演会をセットで開催しました。

上映した映画は河合弘之監督の最新作「日本と再生」で、世界各地で太陽光、風等のエネルギーが電力エネルギー源として活用されている実態が紹介されました。この映画は講演会を挟んで2回上映し、延べ85名の参加者からは1人500円の参加費を負担していただき、上映料金の支払いに充てました。

また講演会は、NPO 法人「環境エネルギー政策研究所」研究員の古屋将太氏を講師にお招きし、「自然エネルギー100%の社会を目指して」の演題で講演いただきました。

講演内容は、世界の自然エネルギーの普及状況、エネルギーの地産地消と自給自足の可能性、日本の市民電力・地域電力等の実態と将来方向及び川越への提言等広範囲にわたり、参加者も感銘を受けた状況でした。

(3) エコドライブ教習会の開催

啓発活動の一環として、前年度に引き続き川越市環境政策課と協働してドライブシミュレーターを利用したエコドライブ教習会を開催しました。

前年と同様に、11月11日にはウェスタ川越で開催された「かわごえ産業フェスタ 2017」会場、11月19日にはつばさ館で開催された「つばさ館まつり 2017」会場の一角にコーナーを設け、それぞれ 41名と 47名の方に1人約5分程度のドライブ擬似体験をしていただきました。参加者にはパンフレットの提供やアンケート調査を通じて自動車に負荷がかかる余計な物を乗せない、急発進や急激な変速をしない等により燃料の消費を少なくする運転の実行について理解を深めていただき、安全かつ地球にやさしい車の運転技術の習得を図りました。

(4) 緑のカーテンの普及推進

普及活動の一環として、前年度に引き続き川越市環境政策課と協働して、4月20日午後に川越市役所本庁舎7階の会議室を会場として、緑のカーテン用のパッションフルーツ及びアピオスの苗を参加者52名に無償配布するとともに、苗の育成、提供をいただいた井口吉三郎会員を講師として育て方の説明会を開催しました。受講者からは質問も数多く、また苗の配布作業を手伝ってくれる方もいて有意義な会となりました。

また、9月9日には、北公民館を会場としてパッションフルーツの挿し木・育苗講習会を行いました。この講習会はこれまでの緑のカーテン用苗の無償配布に替わり、市民の方に挿し木苗の作り方を習得していただき、緑のカーテンの普及を促進しようという考えの下に、公民館活動との連携を実現したものです。講習会には40名の参加があり、これまでと同様に井口吉三郎会員に資材の準備や指導をお願いし、それぞれ熱心に一節苗

をポットに挿し木し、育て方を学んでいただきました。講習会参加者には資材費として1人200円を負担していただきました。

(5) 会員の環境に関する各種活動の支援

7月23日につばさ館で開催された「エコプロダクツ川越2017」に出展した会員を支援するとともに、「2017アースデイ・イン川越 昭和の街」、「北公民館かんきょう祭り」等の会員団体や個人が参画・推進している様々な活動の支援、紹介等を行い、環境活動の活性化に努めました。

5. 自然環境部会

川越は市域の半分近くを、水田・畑・河川域・樹林地が占め、開放感があるからでしょうか、住みやすい街という評判を聞くことがあります。川越市の緑は周辺部に多くあり、中心部には少ない状況です。川越市でも近年は社会・経済の変化に伴い、田畑の休耕や売却、樹林地の消失など土の見える環境は減り続けています。川越には元々は多様な生き物がいたようですが、開発に伴い急速に在来の生き物が失われています。つながりあっている多様な生き物が減っていくことは、人への生態サービスが減じていくことです。世界的にも自然環境は劣化しており、生物多様性保全の取り組みが動き出しています。

自然環境部会は生き物調査や保全再生活動を通じて、川越の生物多様性保全を目指してきました。以下に 2017 年度の報告をいたします。

(1) 行政とのパートナーシップについて

2009 年度より埼玉県の県民参加モニタリング調査に協力し、2015 年度の7年間の調査で終了した。2016 年度から新たに2年間の計画の2年目になる。川越市の生き物調査事業が始まり、枠組み・データ提供などの協力を行った。川越市主催の講座「かわごえ生き物調査会」(10月8日開催)、「かわごえの生き物をたずねて」(3月27日開催)への協力、また、新たに始まった「市民生き物調査」への協力を行った。

(2)調査活動について

「(仮称) 川越市森林公園」計画地・池辺公園では毎月定例での動植物調査を実施した。寺尾調節池・新河岸川河川敷、菅間緑地などの生き物調査や、チョウ、甲虫、トンボヤゴの調査を安比奈親水公園などで実施した。

(3) 保全再生活動について

「(仮称) 川越市森林公園」計画地・池辺公園では在来種や絶滅危惧種などの保全再生活動を毎月定例で実施した。

(4) 自然観察会

市民に川越の自然を楽しみながら知ってもらうために、「(仮称)川越市森林公園」計画地で観察会を行った。虫の観察会、キノコの観察会など、どの会も初参加の人が多く広める効果はあったと思われる。

(5) イベント

田んぼの生き物調査は動物編、植物編と2回、「かわごえ里山イニシアチブ」との 共催にて福田地区で専門家を講師に招き実施した。バスを利用した「那須平成の森 自然観察会」は定員いっぱいの参加者になった。どちらも貴重な体験ができたとの 感想があった。

(6) 学校教育支援

自然環境教育の一環として、高階北小学校3年生が6月、11月、上戸小学校4年生が5月、11月、今成小学校3年生が6月、11月、霞ヶ関西小学校が11月、霞ヶ関西中学校が6月、川越初雁高等学校が2月に学校教育支援を行った。どちらも学年単位なので人数が多く、自然環境部会から多くのスタッフが対応した。

(7) 冊子「川越の自然を訪ねて きのこ編」の発行

3 年間にわたり編集を続けてきたキノコに関する冊子が完成した。発行に関し公 益財団法人サイサン環境保全基金より助成をいただいた。

その他、全体に関わるものでは川の一斉水質調査、エコプロダクツ川越2017、第16回かわごえ環境フォーラムなど部会としての対応があった。

2017年度 自然環境部会活動報告

※表中「【定】池辺」は池辺公園定例活動 毎月第1火曜日

		_「【定】森・公」は「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動 第2、第4月曜日		
年	月	実施項目	備	考
2017年	4月	· 【定】池辺 植物調査 4/4 (火)		
		・ 【定】森・公 植物調査 4/10(月)、4/24(月)		
	5月	- 【定】池辺 植物調査 5/9 (火)		
		・ 【定】森・公 植物調査 5/8(月)、5/22(月)		
		・ 上戸小学校 4年生支援 東洋大学川越キャンパス 5/30(火)		
		・ トンボの調査 5/18 (木)		
		・ 寺尾調節池周辺生き物調査 5/19(金)		
		・ 食べる生き物調査 5/20 (土) 「かわごえ里山イニシアチブ」と共催 35名	一般	対象
		・ チョウの調査 安比奈親水公園 5/25 (木) 雨天中止		
	6月	· 【定】池辺 保全活動 6/6 (火)		
	- , ,	・ 市民生き物調査会 6/3 (土) 「川越市森林公園」計画地、市と共催 28名	共	催
		- 田んぼの生きもの調査 (動物編) 福田地区 6/24 (土) 60名	一般	
		・ 【定】森・公 植物調査 6/12 (月) 、6/26 (月)	/32), J >),
		- 高階北小学校3年生91名学習支援 6/19 (月)		
		- 今成小学校3年生54名学習支援 6/14 (水)		
		· 甲虫調査6/11 (日) 今福雑木林		
		・ 一 - - - - - - - - -		
		· 城下橋周辺魚類調査 6/30 (金)		
	7月	・ 川の一斉水質調査 6/4 (日) ・ キノコの観察会 「(仮称)川越市森林公園」計画地 7/2 (日)33名	一般	お名
	/ Д			
		・ 虫の観察会 「(仮称)川越市森林公園」計画地 7/30(日)35名	一般	刈水
		· 【定】池辺 植物調査 7/4 (火)		
		・ 【定】森・公 植物調査 7/10 (月)、7/24 (月)		
	0.0	・ エコプロダクツ川越2017 出展 7/23 (日)		
	8月	・ 【定】池辺 植物調査 8/1 (火)		
		· 甲虫調査 8/5 (土) 安比奈親水公園		
	9月	・ 【定】池辺 保全活動 9/5 (火)		
		中虫調査 9/10(日) 川越水上公園		
		・ 【定】森・公 植物調査 9/11 (月) 、 9/25 (月)		
	10月	· 【定】池辺 植物調査 10/3 (火)		
		・ チョウの調査 安比奈親水公園 10/5 (木)		
		· 【定】森·公 植物調査 10/9(月)、10/23(月)中止		
		・ 市民生き物調査会 10/8(日) 伊佐沼 川越市と共催 18名	一般	
		・ 那須平成の森自然研修会(バス利用)10/18(水)44名	会員	対象
	11月	・ 【定】池辺 保全活動 11/7 (火)		
		・ 古谷湿地魚観察会11/3(金)川越市に協力・・・台風のため中止	一般	対象
		・ 霞ヶ関西小学校4年生学習支援 11/9(木)笠幡の森		
		・ 今成小学校3年生学習支援11/13(月)		
		・ 【定】森・公 植物調査 11/13(月)、11/27(月)		
		▶ 高階北小学校学習支援 11/6 (月)		
		· 上戸小学校学習支援 11/22 (水)		
	12月	· 【定】池辺 保全活動 12/5 (火)		
		・ 【定】森・公 植物調査 12/11 (月)		
2018年	1月	· 【定】池辺 保全活動 1/9 (火)		
·	, -	· 【定】森・公 保全活動 1/22 (月)		
	2月	· 【定】池辺 保全活動 2/6 (火)		
		・ 【定】森・公 植物調査 2/12 (月)、2/26 (月)		
	3月			
i	- , ,	・ 【定】森・公 植物調査 3/12 (月) 、3/26 (月)		

議案第2号 2017年度決算報告及び会計監査報告

収入

単位:円

項	目	予算額	収入済額	差引	説明
会費	Land Color of the	231,000	227,000	△ 4,000	
	会費	231,000	227,000	△ 4,000	個人:1,000円×115人 民間団体等:2,000円×49団体(合計:164) 過年度分:14,000円
委託金	-	60,000	60,000	0	
	委託金	60,000	60,000	0	県民参加生き物モニタリング調査委託金
助成金		0	600,000	600,000	
	助成金	0	600,000	600,000	(公財)サイサン環境保全基金
補助金		400,000	400,000	0	
	補助金	400,000	400,000	0	川越市より補助金
協賛金		125,000	125,000	0	
	協賛金	125,000	125,000	0	協賛金 25,000円×5者(バイオニア㈱、㈱環境総合研究所、武州ガス㈱、 第一生命保険㈱川越支社、福原ファームクラブ)
繰越金		346,882	346,882	0	
	繰越金	346,882	346,882	0	2016年度より繰越
諸収入		252,524	650,662	398,138	
	諸収入	252,524	650,662		参加費 336,800円(=社会環境部会131,000円+自然環境部会176,800円+ かわごえカフェ29,000円) 冊子売上 313,500円(=川越の自然を訪ねて きのこ編) 利息 2円 返還保険料 360円(=自然環境部会80円+まち美化活動280円)
슫	計	1,415,406	2,409,544	994,138	

支出

項	目	予算額	支出済額	差引	説明
事業費 活動費		594,000	620,860	△ 26,860	
		122,000	116,666	5,334	部会活動費、川越市環境月間ポスターコンクールにおける環境ネット賞副 賞、年会費、サーバ更新料、保険料他
	報償費	182,000	210,000	△ 28,000	講師謝礼
	交通費	230,000	234,194	△ 4,194	バス借上料他
	県事業費	60,000	60,000	0	県民参加生き物モニタリング調査事業費
会議費		55,000	39,230	15,770	
	会議費	55,000	39,230	15,770	
事務費		547,000	1,389,443	△ 842,443	
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		1,184,983	△ 830,983	かわごえ環境活動報告集印刷代、「川越の自然を訪ねて きのこ編」印刷代、かわごえカフェ資料費等、コピー用紙代、コピー代、インク代他	
	役務費	193,000	204,460	△ 11,460	ゆうメール代、はがき代、切手代他
予備費		219,406	0	219,406	
	予備費	219,406	0	219,406	
台	計	1,415,406	2,049,533	△ 634,127	

=(収入済額) 2,409,544円 - (支出済額) 2,049,533円 = 360,011円 (2018年度へ繰越)

上記のとおり決算報告いたします。

かわごえ環境ネット 理事長 小瀬 博之

会計監査報告

2018年4月20日に2017年度かわごえ環境ネットの会計監査を実施したところ、適正に執行されていましたので、これを報告いたします。

2018年4月20日

かわごえ環境ネット 監事 宮﨑 誠 監事 中山 勝美

議案第3号 役員の改選について

役員の改選(案)

理事

氏 名	会員区分	再任・新任
安藤裕貴	個人	再任
14ジマ ホマレ 飯島 希	個人	再任
カド タマキ 賀登 環	個人	再任
*クテ ミツオ 菊地 三生	個人	再任
小瀬 博之	個人	再任
#田 政稔	民間団体(川越中央ロータリークラブ)	再任
^{タケダ} カンゾウ 武田 侃蔵	民間団体(クリーン&ハートフル川越)	再任
横山 三枝子	民間団体(福原ファームクラブ)	再任
ヤマダ トモヤス 山田 智靖	事業者(川越環境保全連絡協議会)	新任
高橋 宗人	行政(川越市)	再任

監事

氏 名	会員区分	再任・新任
原嶋 昇治	個人	新任
ミヤザキ マコト 宮崎 誠	個人	再任

議案第4号

2018年度事業計画

~2018年度事業計画(案)~

1. 2018 年度の基本方針及び全体事業

本会にとって19期目の活動は、長期的には持続可能な社会や環境をめざした活動を志向しつつ、短期的には、川越でオリンピック競技が開催され、本会の設立20周年ともなる2020年度、また、中期的には、望ましい環境像の実現に向けた市民・事業者・民間団体の行動計画「川越市環境行動計画」の目標年度である2025年度というそれぞれ2年後、7年後に向けて、第三次川越市環境基本計画の望ましい環境像である「みんなでつくる、自然・歴史・文化の調和した人と環境にやさしいまち」の実現に向けて活動を展開していきます。

望ましい環境像の実現には、地域や年代が多様な市民・団体の参加・参画が不可欠です。 各事業の参加者は増加傾向にありますが、運営主体である本会の理事会、専門委員会の参加者は固定され、高齢化も進んでおり、持続的な事業の実施が困難になることが予想されます。これまでの活動の継続を主体としながらも、新たに運営を担う人材の獲得に向けて組織や組織運営の見直しを図っていく必要があります。新たな運営を担う人材を獲得するためには、会議や行事への参加をしやすくすることが欠かせません。難しい課題ですが、会議や行事の対象者を広くすることを常に考え、実施していくことが求められます。

上記のことを意識しながら、本会の目的である「川越市環境基本計画に基づき、市民、 事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつ つ実行できるよう、協働して行う事業について情報提供や調整を図ることにより、地域ぐ るみで本市の望ましい環境像実現のための取り組みを活発にすること」に基づいて、以下 に5つの事業についての基本方針と、全体事業を中心とした具体的な事業を記します。

- (1) 【交流事業】2月23日に「第17回かわごえ環境フォーラム」を開催し、市民・民間団体・事業者・大学・行政等の「環境活動報告会」を実施するとともに、川越市の環境保全やまちづくりに興味のある広範な参加者を集めたワールドカフェ形式による「かわごえカフェ2019」を実施します。また、5月19日に開催される総会後の懇親会、かわごえ環境フォーラムの付帯行事としての懇親会など、会員間の交流行事を積極的に実施します。さらに、川越市において市民活動を展開している団体との交流、協働を進めるため、交流行事への出展や行事での広報に努めます。
- (2) 【普及・啓発事業】7月22日に開催予定の「エコプロダクツ川越2018」に会員団体等と共同出展して、広く市民に環境に配慮した行動の普及・啓発を図ります。また、同会場において会員企業のポスター展示を実施し、企業と市民との環境コミュニケーションを支援します。ボランティアの機会の提供と地域への啓発のために、7月15日に郊外、10月20・21日に川越まつり会場、12月23日に中心市街地の3回のクリーン活動を実施します。さらに、10月6・7日に行われる予定の「2018アースデイ・イン・川越昭和の街」など、川越市内外で行われる普及・啓発イベントへの出展・参加を実施します。その他、専門委員会においては、広報紙のコラムを通じて環境活動に関する普及・啓発を図るとともに、見学会、講演会等の行事の実施に

より、普及・啓発活動を推進します。また、川越市(環境政策課)が主催する環境月間ポスターコンクールにおいて「環境ネット賞」を選定します。

- (3) 【調査・研究事業】6月3日の川越市内河川における「川の一斉水質調査」の実施をはじめとして、流域団体の活動に協力します。自然環境部会においては、埼玉県や川越市が実施する調査事業に、会員団体とも協力しながら引き続き参加するとともに、本会主催事業として公開の自然観察会、調査活動、保全再生活動を実施します。また、「川越市環境行動計画」の推進のため、「環境に配慮した行動(チェックシート)」を、会員やイベントの来場者、大学生に対して実施し、集計することにより同計画の進捗状況を把握します。
- (4) 【学習支援事業】ウェスタ川越が主催する環境講座の実施に協力します。また、総合的学習の時間、家庭教育学級等における学校の環境学習を支援します。
- (5) 【広報・情報事業】本会の広報紙として「月刊かわごえ環境ネット」を年12回発行し、本会や会員が主催した行事、会員等からの活動報告、予告などを取りまとめて掲載し、情報の蓄積と共有を図ります。また、Web サイトの運営とソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) の Facebook と Twitter を活用し、環境に関する人的交流を進めるとともに、広範な範囲の参加者や会員の増強を図ります。刊行物として、かわごえ環境フォーラムの開催に合わせて『かわごえ環境活動報告集』を発行し、市民・民間団体・事業者等の環境活動に関する情報の集成を図ります。また、川越市が発行する『平成30年度版 かわごえの環境(第2号)』の「市民・事業者の環境への取組状況」に、前年度の川越市環境行動計画の「環境に配慮した行動(チェックシート)」の集計結果及び川越市における本会等の協働事業を掲載します。

2. 広報委員会

広報紙が月刊紙になったのは 2006 年 11 月のことで、それから 2018 年 3 月号で 137 号を数えます。平均して 16 ページの発行を継続しており、単純計算すると 2,200 ページに及ぶ情報を掲載し、蓄積してきました。この膨大な資産は、本会並びに会員の活動の原動力ともなっています。

一方、多数の会員を抱える本会でありながらも、記事を執筆されるのは限られた個人、 団体のみになっている傾向にあります。活動は多方面にわたっており、幅広い活動の掲載 が、川越市における環境活動の活発化につながると考え、記事の投稿を幅広く募集してい きたいと考えています。

広報事業の継続については、執筆、編集、印刷、発送ともに大きな課題を抱えています。 インターネットの活用度合いを高める取組を検討する必要があります。そのためには、インターネットにおける Web サイトを運用するコンテンツ・マネジメント・システム (CMS)の更新やソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) である Facebook, Twitter との関係を再構築して、広報に携わる人材を広げていく必要があると考えており、紙面の発行を含めた広報システム全体の見直しを検討していきます。

このような課題に対する改善を検討しながらも、毎月の広報紙「月刊かわごえ環境ネット」の発行を継続して事業報告並びに予告を広く伝えるとともに、並行してインターネッ

トの活用を図ります。また、会員のニーズを把握しながら、多様な広報手段を検討します。

3. 社会環境部会

2018年度は、前年度までの諸活動を継続しながら、環境の諸問題の解決に向け「川越市環境行動計画」の普及に向けての学習を通して、社会環境部会の活性化を図ります。毎月の定例会への参加者を増やすために、個人とともに団体会員の参加を呼びかけてまいります。以下、主要な計画を提示します。

(1) 部会の開催及び月刊紙コラムへの記事投稿

毎月1回、2時間程度の会合をもって、部会が主催する活動の企画、具体的事業の実施計画、事業実施後の総括等を話し合い、また様々な情報の交換を行うともに、本会月刊紙「かわごえ環境ネット」のコラム「私のエコ体験」への記事投稿を促進し、活動の活性化を図ります。

- (2) 学習活動の一環として、前年度に引き続き次の事業を実施します。
- ①環境施設の見学

会員等の参加の下に、産業、生活、歴史、文化等に係る施設をバスツアー形式で見学 し、環境にやさしい施設の整備、維持管理等について情報及び知識の向上を図ります。

②環境講演会の開催

環境問題をテーマに、会員及び市民等を対象とした講演会を開催し、環境変動の実態とその要因及び望ましい環境の保全対策等について学びます。

- (3) 普及啓発活動の一環として、前年度に引き続き次の事業を実施します。
- ①エコドライブ教習会の開催

前年度に引き続き川越市環境政策課と協働して、ドライブシミュレーターを利用した 自動車運転の擬似体験とアンケートを実施し、安全かつ地球環境にやさしい車の運転に ついて啓発に努めます。

②緑のカーテンの普及推進

前年度に引き続き公民館と提携して、緑のカーテン用種苗の増殖実演とその育て方の 説明会を開催し、地球環境にやさしいエネルギー節約型の生活の普及に努めます。

③環境イベントへの出展参加

本会全体事業として出展参加するエコプロダクツ川越 2018 等のイベントに積極的に出展参加し、望ましい環境行動の啓発に努めます。

(4) 会員の環境に関する各種活動の支援

会員団体や個人が推進しているまちなかの美化活動、川の再生・保全活動、かしこい エコ暮らしの推進等の様々な活動を紹介、支援し、住みよい川越を次世代に引き継ぐ活 動の活性化に努めます。

4. 自然環境部会

自然環境部会のメインテーマは、「生物多様性の実現をめざして ~生き物との共生、生き物の賑わいのある川越」です。川越に残る良好な自然環境の探求と記録、そして保全・再生への取組です。前年度から川越市環境政策課が「市民生き物調査」を実施しており、

自然環境部会が協力し、それに伴う観察会は共催で行います。市民生き物調査から提供されたデータは、川越の自然の実態把握に資することになります。そこから新たな保全策が生まれると期待しています。

また、田んぼから自然を再生していこうというのも会員団体の新しい取組です。そして それを広く市民と共有できる組織作りが課題です。これらを今年度は頑張っていきたいと 思います。具体的な事業計画は以下の通りです。

かわごえ環境ネット自然環境部会 2018年度事業計画 生物多様性保全の実現をめざして

~生き物との共生、生き物の賑わいのある川越~

	<u>~生さ物との共生、生さ物の賑わり</u>	1
項目	実施内容	実施場所・時期
1. 行政とのパート	①川越市の「市民生き物調査」や	講座は年3回予定
ナーシップ	関連イベント協力	
	②県民参加モニタリング調査協力	
	(10年目)	
2. 調査·保全活動	①雑木林などの調査・保全	「(仮称) 川越市森林公園」計画
		地 毎月第2、4月曜日
		・池辺公園 毎月第1火曜日
	②動植物調査 (データベース、モ	
	ニタリング連動)	どその他、随時検討(日程未
		定)
	③トンボ・チョウ・甲虫の調査学	6月川越水上公園、8月安比奈親水
	習会(講師を招く)	公園、9月「(仮称)川越市森林公
		園」計画地
3. 自然観察会	①「新緑の雑木林観察会」	•「(仮称)川越市森林公園」計
		画地 5/13 (日)
		• 「(仮称)川越市森林公園」計
		画地 7/1 (日)
	③「虫の観察会」 川越市と共催	• 「(仮称)川越市森林公園」計
		画地 7/29 (日)
4. イベント	①田んぼのいきもの調査(植物	・福田田んぼ周辺 7/7 (土)
	編)	
	②田んぼの生きもの調査(動物	・福田田んぼ 7/28 (土)
	編)	,,
	1 1 2 は「かわごえ里山イニシア	
	チブ」と共催	
	③バス利用自然研修会	• 候補地検討中
	④小畔川魚とり遊び	7/16 (祝)
	「小畔川の自然を考える会」と	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	共催	
 5. 学校教育支援	 	・要請があれば随時
6. 法令勉強会	環境基本計画・緑の基本計画を生	- 安 研 が め が の が の が の が の が の か
	かすための提案、提言のために	page 1
	昆虫を含む観察会、講師を招いて	・川越市とその周辺
	の勉強会など	/·/ K□·// □ □ □ □ ✓/ /□/ K□
8. 全体活動	①川の一斉水質調査	6/3 (日)
rT*/LI 2 /J		7/22 (日)
	③第17回かわごえ環境フォーラム	
	3第17回がわこえ環境フォープム その他	2/20(1)
	」C V7世	

議案第6号

2018年度予算

2018年度予算(案)

1収入 (単位:円)

項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備考
会費	会費		231,000	Δ 2,000	
	年会費	229, 000	231,000	△ 2,000	個人1,000円×125人、団体2,000円×52団体
負担金		240, 500	252, 500	△ 12,000	
	参加者 負担金	240, 500	252, 500	△ 12,000	研修会(自然120,000円、社会90,000円)等
補助金		400, 000	400,000	0	
	川越市 補助金	400, 000	400, 000	0	川越市からの補助金
委託金		60, 000	60,000	0	
	埼玉県 委託金	60, 000	60,000	0	県民参加生き物モニタリング調査委託金
協賛金		125, 000	125, 000	0	
	協賛金	125, 000	125, 000	0	かわごえ環境フォーラム協賛金(5者)
繰越金		360, 011	346, 882	13, 129	
	前年度 繰越金	360, 011	346, 882	13, 129	前年度繰越金
諸収入		20, 002	24	19, 978	
	預金利子	2	24	△ 22	預金利子
	雑入	20, 000	0	20, 000	冊子(きのこ)頒布収入
合	合 計		1, 415, 406	19, 107	

2 支出

乙又山					
項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備考
事業費		1, 258, 000	1, 156, 000	102, 000	
	報償費	214, 000	185, 000	29, 000	講師謝金
	旅費	11, 000	18,000	Δ 7,000	研修会下見等
	需用費	429, 000	352, 000	77, 000	資料印刷、消耗品等
	役務費	270, 000	254, 000	16, 000	送料、保険料等
	使用料及び 賃借料	254, 000	269, 000	Δ 15,000	会場使用料、バス借上料等
	備品購入費	20, 000	18,000	2, 000	標本箱等
	受託調査費	60, 000	60,000	0	県民参加生き物モニタリング調査
事務費		36, 000	40,000	△ 4,000	
	旅費	2, 000	1, 000	1,000	加盟団体総会参加電車賃
	需用費	15, 000	20,000	△ 5,000	コピー用紙等
	役務費	10, 000	10,000	0	送料等
	負担金	9, 000	9,000	0	加盟団体年会費
予備費		140, 513	219, 406	△ 78,893	
	予備費	140, 513	219, 406	△ 78,893	
合	計	1, 434, 513	1, 415, 406	19, 107	

[※]理事会において、予算編成について見直しを行い、2018年度予算から改めることとした。